

稽古・修養・養生－日本の self-cultivation の原風景

2021年5月15日 西平 直（京都大学）

I 日本の self-cultivation（自己形成・自己への配慮）

1, 日本の教育的伝統（原風景・古層） 学校がなかった時代にも「教育」はあった

2, 「近代学校教育システム」の周辺

産育（産み育てる）の系譜 ⇔ 自己形成（自己を磨く・自己への配慮）の系譜

3, 修行・稽古・修養・養生、それぞれ、独立した系譜（縦の継承）

英語にすると同じ言葉 cultivation この土俵を借用

4, 江戸期以前（前近代）「学校」の周辺にあった多様な self-cultivation の思想

「非近代」の教育を近代教育の用語で理解する（近代の枠に回収してしまう）危険

戦前・戦中の用語の扱い。例えば、「修身」 「身を修める」

*self-cultivation として見た時、近代学校教育システムは、いかなる意味で特殊か

II 稽古のモデル：わざを磨き、道を極める

1, 学習プロセス+脱学習プロセス

2, 似する・似せぬ・似得る（世阿弥モデル）

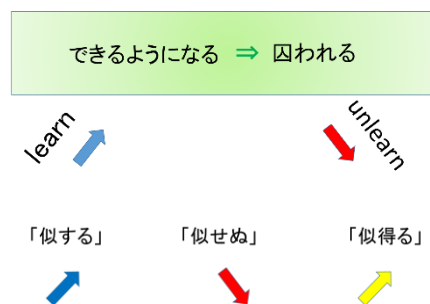
スキル+アート、守破離、

ヘリゲル『弓と禅』、行き詰まり・イノベーション

3, 成功か成就か（成就：然るべき過程を踏んだ後に落ち着くべきところに落ち着く）

4, 修証一等 修行は手段ではない。「修のほかに証を待つ思いなかれ」（道元）

*稽古モデルを中心に置く。しかし、稽古だけでは見えてこない問題。



III 修養の系譜：「人生の苦難がすべて修養になる」「準備即ち修養が大切である」

1, 修養＝準備

2, 朱子学「修己治人（己を修めた者が民を治める）」（よき統治者になるための自己形成）

3, 江戸期の修養論、科挙制度のない国の儒者、修養をめぐる多様な発想

荻生徂徠、修養（修己）と政治（治人）を切り離す、形を真似よ、古文辞学

3, 明治期修養論 新渡戸稲造 「個我としての人格」


4, 修養をめぐる論点 1) 統治者の自己修養か、2) 文化の伝達か人格の完成か、

3) 内省重視か実践錬磨か（陽明学）、4) 現世利益（出世）か脱俗か、5) 復初か克己か

IV 養生の系譜：気を養い、天地の気と循環する

- 1, 自分で自分をケアする（「癒ゆ」） ⇔ 治療してもらおう（医者と患者）
自然の回復プロセス（自己治癒力）、病気になる前に（未病）
- 2, 貝原益軒『養生訓』（1713年）
- 3, 江戸期の養生論を「教育」のひとつの脈と見る（中内敏夫）
しかし修身教科書、民衆教化の側面、「足るを知る」、「分限を安んじて（分に応じて）」
「楽の思想」の側面。「楽しまずして天地の道理にそむくべからず」
- 4, 近代日本における養生 1) 医学、2) 衛生、3) 学校教育、「養生科」、
修身科における養生、学校保健、体育（規律化された身体）
- 5, フーコー「規律訓練」 儒家と道家（どちらも共に「修養」も「養生」も説く）
個人 vs. 国家 ⇔ 天地の気と循環する
フーコー「自己への配慮」＝日本の思想で言えば「儒教的養生＋道教的修養」
- 6, 道家（タオイズム）の系譜、古代中国の養生思想、神仙思想（仙人）
葛洪『抱朴子』、「呼吸法」「房中法」「丹薬（不死薬）」、「導引」
教育思想史におけるタオイズムの意味

V 仮結び

- 1, self-cultivation から見た時、近代学校教育システムは、いかなる意味で特殊か
稽古はわざを磨き「道」を極める。⇒ すべての子ども、師匠ではない教師
修養は、暮らしの中で「身」を修め「心」を養う。⇒ 子ども時代、生活から切り離す
養生は、「気」を養い、天地の「気」と循環する。⇒ 一斉に、規律化した訓練、「自己抑制」
- 2, 宗教修行との対比 水平と垂直
* 学校教育 → self-cultivation ← 宗教修行

- 3, 最終的には no-self を目指すのか。self-cultivation toward no-self
- 4, 自らをよくしたい self-cultivation 用語の整理・ズレ lesson, training, exercise, discipline, habit-formation, self-improvement, self-uplifting, Übung, Bildung,
- 5, 教育関連用語（翻訳語）の組み替え：育、養、訓、教、導、伝、助、援、添、習、修
- 6, 「よくなりたい」と「そのままがいい」
古代中国の陰陽思想（柔かな二元論）。「治す」という視点が入ると「硬い二元論」になる。
「弱さ・もろさ・みじめさ」を超えようとしないう self-cultivation